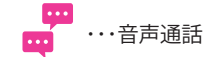
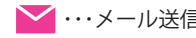


「通話ボタン」の具体的な活用方法



「通話ボタン」の具体的な活用方法

アイコンの説明



①見積書を送るメールに貼る 対応すべき相手と直に通じる専用窓口

メールを送る時に本文に「自分宛ての通話窓口ボタン」を貼って、相手（顧客・取引先担当者）から音声通話を頂くフック（きっかけ）となる

顧客からの連絡は
興味の高さの証



メールの例
メールの署名や
本文に貼り付け



メール

見積書を受け取った顧客が
メールに貼った「通話ボタン」を押し
担当者に直に通話発信する



通話

案件内容について顧客と対話する機会を創出する
顧客からの連絡を促進し、商談発生率・成約率向上に寄与する

②手紙に QR コードで貼って送る アナログでも伝えられる「通話ボタン」の存在

手紙などアナログの方法でしか連絡ができない相手にも「通話ボタン」は QR コードにして送付が可能。

匿名・無料の
通話問合せは
ストレスがない



郵送

スマートフォンで QR コードを読み取り
そのまま通話発信！アドレス入力も
電話番号入力も不要で直接担当に通話開始



通話

一般的な電話問い合わせに比べ、「通話料無料」「匿名」「簡単操作」で
音声通話ができる点で顧客側から連絡する障壁を低くすることができ、
アナログ情報しか記録がない相手にもリーチできる。

手紙や封書の郵送で連絡を取る相手にも
QR コードを使って相手に通話ボタンを
案内できる。

「通話ボタン」の具体的な活用方法

アイコンの説明

…メール送信

…通話発信

…音声通話

…郵送

③ 請求書など事務連絡の対応窓口として **聞きたいことをすぐに聞ける相手に直接つながる**

請求書をメール添付や郵送で送る時下記のような「自分宛ての通話窓口ボタン」を貼って送る



担当者が請求書発行。発行書類に自分宛ての「通話ボタン」を貼る



請求書を受け取った相手が内容の確認等 この請求の担当者に対し、通話を掛けて確認・質問をする



個別の請求内容に対する質問・相談を、その件の担当差直通で問合わせできる。取次の手間もかからない。両者にストレスフリーな取引を成立させる。

メール添付で送付 (イメージ)



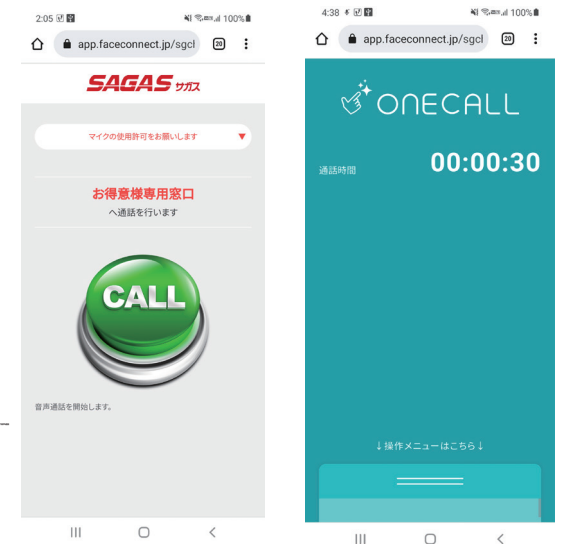
請求書余白、または案内書類に QR コードをプリント。

メール添付で送付



メール本文や署名内に通話ボタンを貼る

通話開始画面でボタンを押す



通話開始画面

通話中画面